

平成31年 新春講演会並びに賀詞交歓会

総務委員会

平成31年1月25日（金）、仙台ガーデンパレスにて一般社団法人東北地質調査業協会、一般社団法人全国さく井協会東北支部、一般社団法人斜面防災対策技術協会東北支部の3協会合同による恒例の新春講演会及び賀詞交歓会が開催されました。



講演される桜庭氏

新春講演会では、講師にラグビーワールドカップ2019アンバサダーの桜庭吉彦氏をお迎えし、「ラグビーワールドカップ2019釜石開催に向けて」と題してご講演を頂きました。講演では、先ずラグビーのルールの解説に始まって、ラグビーの精神、ワールドカップ開催による様々な効果について説明されました。その効果とは、ラグビーワールドカップの観戦者は200万人以上が見込まれ、外国からの来訪者も数十万人に上ることから「観光産業への貢献」、そして釜石を含む開催都市については「地域住民・地域経済の活性化」、「スポーツ振興都市としての発展」、「国際都市としてのブランド力UP」である、と話されました。自身の経験を基に「なぜ日本代表になれたか？」との

問いに、「なりたいと思い、その思いを持ち続け、そして行動を続けたから」との答え。さらに「失敗から学ぶことが大切で、諦めない限りは失敗じゃない」と述べられました。ラグビーの組織作りでは個性を活かすことが大切「One for all, All for one」の精神は、我々業界の組織作りにおいても大いに学ぶべき精神と感じました。さらに、東日本大震災に触れ、小中学校の生徒600人が一緒に避難して一人の犠牲者も出さなかった「釜石の奇跡」のエピソードについての話がありました。釜石での試合は2試合で、しかも日本代表の試合ではないけれど、しっかり準備して迎える地元の取り組み状況も紹介されました。最後に釜石の奇跡を生んだ生徒達自身が制作した歓迎のプロモーションビデオが上映されましたが、これには多くの聴講者が目頭を熱くしていました。



高橋理事長の挨拶

引き続き行われた賀詞交歓会は、3協会総勢114名が参加し大変な賑わいとなりました。

開会に際し、3協会を代表して当協会

.....

理事長の高橋和幸氏が挨拶に立ち、「われわれ業界の役割は大きいですが、残念ながら認知度が低い。子供たちに地質・ボーリング調査の重要性を地道にPRして次世代の担い手を確保していきたい。」と力強いメッセージが寄せられました。



西尾企画部長の祝辞

続いて、来賓として御臨席頂きました、国土交通省東北地方整備局企画部長西尾崇氏より、「昨年は災害が多く発生した。災害時には皆様の力が不可欠です。働き方改革に向けてこの業界が、給料が良く、休暇が取れて、希望を持てる新3Kとなるよう、環境改善への取り組みを進めていきたい。」と大変ありがたい祝辞を頂きました。

その後、一般社団法人斜面防災対策技術協会東北支部長の熊谷茂一氏による乾杯の発声で宴席がスタートしました。

久々の再会に互いの近況を確認しあう姿や、恒例の東北各県から集まった会員による地酒の差し入れが宴をさらに盛り上げ、終始和やかな賀詞交歓会となり、新年の門出を祝いました。

締め括りは、一般社団法人全国さく井

協会東北支部長の平山清重氏より、3協会員及其のご家族の健康と健勝を祈念した手締めを行い、盛会のうちにお開きとなりました。



盛況の賀詞交歓会